



2016年1月28日 第2223回例会
1月第4例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「職業奉仕月間」

◆会長時間◆

金本会長



先々週1月16日に、国際ロータリーより「新会員推薦者認証の変更について」というメールが届きました。その内容は、これまで新会員の推薦者に対して国際ロータリーより、認証ピンおよび入会者数に応じてブルー、ブロンズ、シルバー、ゴールドのピンの裏あてが贈られていましたが、2016年4月1日をもってこれを廃止するというものでした（認証品の贈呈は、2016年2月29日までの推薦者で終了）。このプログラムは2013年7月1日以降に入会した新会員の推薦者を対象としてスタートしましたが、2年8か月をもって終了することとなりました。今後は、クラブ役員から報告された新会員推薦者の名前は国際ロータリーに記録されますが、表彰についてはクラブや地区が独自に行うよう奨励されています。

話は変わって、今月初めに2014-15年度（金子克也G年度）の地区活動報告書が配布されました。これを機会に、過去5年間の地区会計の資金残高を一覧にしてみました。以下の通りです（金額単位千円）。

年 度	ガバナー	一般会計残高	危機管理基金	残高合計
2010-11	前田	27,922	10,000	37,922
2011-12	田村	31,796	13,000	44,796
2012-13	大之木	38,879	16,000	54,879
2013-14	沖田	44,377	19,000	63,377
2014-15	金子	48,265	22,000	70,265

このように、地区資金残高は毎年平均して約

800万円増加している状況です。中でも「各種委員会奉仕活動費」は、5年間の平均で毎年570万円もの剩余が発生しています。

ここで危機管理基金とは、世界自然現象、人為的な暴動やテロなど様々な出来事が数多く発生している現在の世情の中で、日本に留学中の学生、地区より推薦した他国への留学生等の安全確保に備えて、前田ガバナ一年度に創設された基金であり、初年度1千万円、以後毎年300万円が積み立てられています。

因みに、会員一人当たりの地区関係負担金は、2010年度から2012年度までは24,500円、2013年度25,000円、2014年度25,700円となっています。

●会務報告 梶本幹事

※新会員募集について

本年度、新会員募集を3月理事会を一区切りにし、さらなる会員増強をしていきたいと思いますので、新会員情報をよろしくお願い致します。なお、情報をいただければ執行部で勧誘いたしますので、ご協力お願いします。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 浜田委員

本 日 (1月28日・木曜日)

会員数 83名 出席者 66名

欠席者 17名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 3名

計 69名

前々回 (1月14日・木曜日)

出席率 100%



※ 香川基吉IM実行委員長

例会終了後、4階「カメリア」において第4回IM実行委員会を開催いたしますので、実行委員会メンバーは出席願います。

※ 青少年・インタークト委員会 新本委員長

1月22日、金本会長を筆頭に梶本幹事、原副幹事、松岡理事、そして青少年・インタークト委員会のメンバー4人の計8名で修大附属鈴峯女子インタークトクラブの例会に出席し、金本会長挨拶の後、会長から本年度の卒業生6名（4名は試験準備等のため欠席）へ表彰状と記念品が贈呈されました。また出席のあった卒業生全員からはひとりずつ広島西ロータリークラブへの感謝の気持ちをそれぞれの思いを込めて謝辞の挨拶をされ、贈呈式も滞りなくとり行われました。

それと、今年のインタークトクラブとの合同交流行事ですが、2月7日㈰に呉地方総監部の艦艇見学等を企画しております。ただ理事会承認日と事前の自衛隊への申込日の都合上、今年はちらしを作成し会員の皆様全員にはお声掛けしておりません。お声掛けした会長、副会長、幹事をはじめ理事執行部のかた、青少年・インタークト委員会のメンバーのかたは本日ボックスに当日のスケジュールを入れさせて頂いておりますので、ご確認ください。なお、艦艇見学には身元照合のため運転免許証を必ず持参して頂きますよう、お願ひ致します。



● 同好会報告

④ 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会1月例会は1月21日木曜日、いつもの庚午クラブで、いつもの様におとなりのそば吉で夕食をとってからのスタートとなりました。今回の見どころは、7月からの半年間の成績は岡野さん2勝、木本さん2勝、そして鈴木2勝という3つともえの中から、誰が抜け出すかという戦いとなり、その中から抜け出したのは、やはり常に上位入賞で安定した麻雀をされます岡野さんが見事3勝目となりました。

惜しくも準優勝は木本さん、3位は小橋さんとなり、私は4位に沈みました。

ともあれ1月例会も楽しく行われ、みんなの笑顔が印象的でした。

次回例会は、2月18日第3木曜日に庚午クラブで行います。奮ってのご参加お待ちしております。

● 会員記念日

● 1月決算月おめでとうございます。

(14名)

浜井君 (株)大野石油店 酸化チタン部

日域君 (医)日域医院

金本君 金本公認会計士事務所

大本君 大本・三宝・桑原法律事務所

渋谷君 (株)シブヤ

豊岡君 豊岡ヘルシー歯科クリニック

垂井君 CAF垂井俊郎建築事務所

上野君 (有)石亭

木村君 木村公認会計士・税理士

福田君 (医・社)たかし会尾鍋外科病院

香川(浩)君 (有)ヒロウェル

大植君 大植法律事務所

片山(恵)君 (株)コマップス

林田君 ソラーレホテルズ&リゾーツ

(株)チサンホテル広島





奥様お誕生日おめでとうございます。

(10名)

川西君	文江夫人
垂井君	理江夫人
豊岡君	敬子夫人
浜井君	寛子夫人
隅田君	英美夫人
佐久間君	優子夫人
諫訪(昭登)君	博子夫人
蓼原君	みどり夫人
田中君	久恵夫人
前橋君	宏子夫人

●スマイルボックス

S A A 大植委員長

大植君（自主申告・トリプル）

このたび、義理の父である梶川博が、初めて、医学書ではなく、一般向けの本を出版することになりました。高知大学名誉教授の森惟明（これあき）先生との共著で、第1弾が「脳梗塞に負けないために」、第2弾が「認知症に負けないために」、第3弾が「ロコモに負けないために」と、3冊出ます。

脳梗塞、認知症、ロコモと、いずれも豊かな老後を送るために、防がなければならないものばかりであり、その予防法が非常に分かりやすく解説されています。

紫雀会

優 勝 岡野君 ダブル
2 位 木本君
3 位 小橋君

●スマンボックス

小田君

1月21日の年男放談で、プログラム出席委員会委員長として、蓼原さんに直接依頼しておらず、また、当日欠席連絡をされていたにもかかわらず、そのまま卓話者として掲示し、また、10分間の穴を開けてしまい、蓼原さん及び皆様にご迷惑をおかけしました。今後このようなことがないようにいたします。

■卓 話



職業奉仕部門 クラブフォーラム

松岡（輝）委員長

先日、お願いしたアンケートをまとめてみました。パワーポイントで説明させていただきます。

広島西ロータリークラブ 職業奉仕委員会 クラブフォーラム

平成28年1月28日(木)
職業奉仕委員会

「職業奉仕」の定義 ～I Serve の究極にあるもの～

(第2630地区服部芳樹PG) <2014.10 ロータリーの友より>

・「ロータリーの目的」(主文より抜粋)＝「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」

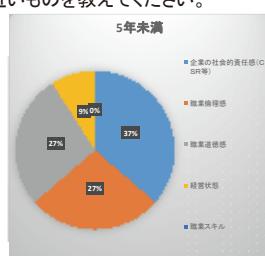
↓
「個々の職業において、理想とする奉仕の理念を実践すること」

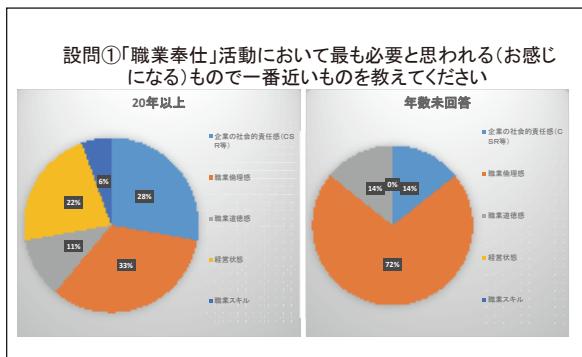
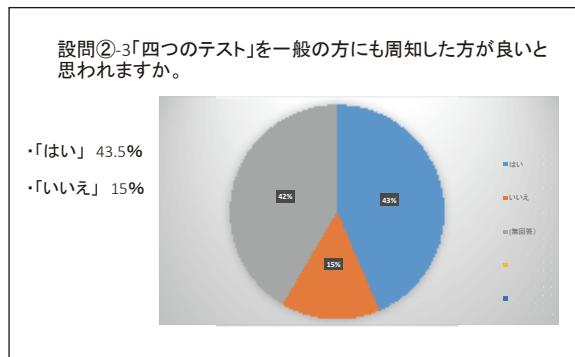
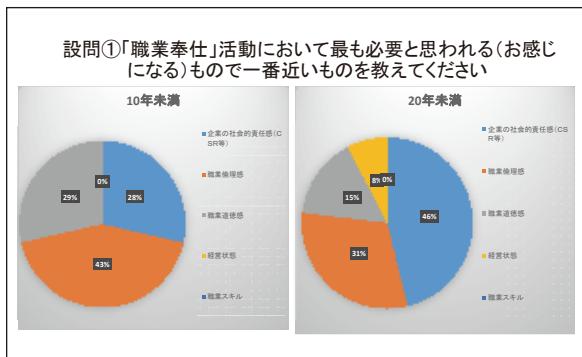
「職業奉仕」について

～広島西ロータリークラブ会員アンケートを通じて～

設問①「職業奉仕」活動において最も必要と思われる(お感じになる)もので一番近いものを教えてください。

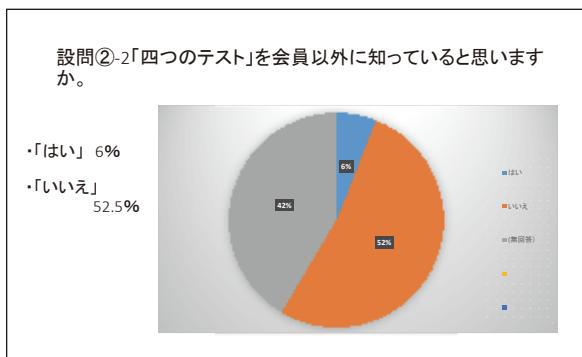
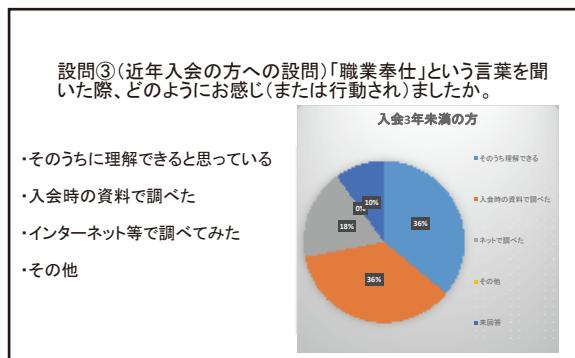
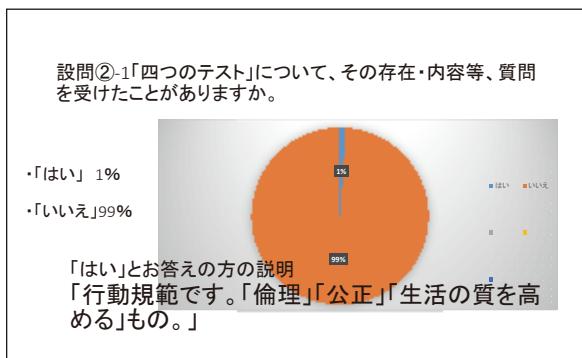
- ・企業の社会的責任感(CSR等)
- ・会社の経営状態(業績等)
- ・職業倫理感
- ・職業スキル
- ・企業道德感





設問②-3「四つのテスト」を一般の方にも周知した方が良いと思われますか。』に対するコメント(抜粋)

「ロータリアンだけで良い」「一般への周知は押し付けになるのでは」「分かりやすい解説のようなものが必要では」「周知せどもロータリアンには不可欠なものである」「『四つのテスト』に拘らず、周知した方が良い」「RC活動を通して周知できれば良い」「多くの機会を作り、周知につながれば良い」「リーダーの役割の人に向けて教育すべき」「広報資料(パンフレット等)に『四つのテスト』を掲載しては」「(行動規範、四つのテスト等の)精神は周知した方が良い」「まず、ロータリーそのものを周知する方が先だと思う」



続いてグループに分かれての
フォーラムへ移りたいと思います。

ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

● 卓話予告

日時	テーマ
2/18(木)	国際奉仕部門 クラブフォーラム

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 金本 善行
幹事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索